

## スパムメール(SPAM MAIL)への対策が急務

### スパムメールとは

スパムメールとは、受け手の都合を無視して一方的かつ大量に送付される営利目的の広告・ダイレクトメールのことである。スパムの語源はハムの缶詰の商品名であるが、TVのコメディ番組で「スパム、スパム、スパム」と連呼するシーンからの連想で、こうした迷惑メールを指す呼称になった。より一般的に Unsolicited Commercial E-Mail (迷惑商用メール) という呼び方もされる。

スパムメールは、受け手にとっては、それを受け取る時間やインターネット利用料金が無駄になるし、極めて大量に送られるためメールサーバーやネットワークの資源も濫用されることになる。また、その対策や苦情処理の為に費やされるコストも馬鹿にならず、非常に大きな問題となっている。

一方、スパムメールを送る側(SPAMMER: スパマー と呼ぶ)からすると、極めて低コストで大量のダイレクトメールを送れるため、これを自ら行う者あるいは請け負う業者は後をたたない。例えば、インターネット上で勝手に収集したメールアドレスのデータやスパムツールが販売されているのが現状である。

米国では、こうしたスパム業者に対するプロバイダーなどからの訴訟がおこされ、その多くは原告側の勝訴となっているし、スパム行為を禁止・制限する法案も議会で提案されている。また、スパマーを排除する運動も強力に展開されている。

### 不正なメール中継

スパマーは、大量のスパムメールの送信を高速に行うために、第3者のメールサーバーを中継に利用することがある。こうした「不正な第3者リレー」に利用されるとスパムメール配送の片棒をかつがされるだけでなく、大量のエラーメールの返信でメールサーバーが利用不能になったり、スパムメール受信者からの苦情の対応に追われるといった二次的な被害を被ることも少なくない。

また、「第3者リレー」を許す状態(Open Relay と呼ぶ)を続けると後述するようなブ

ラックリストのデータベースに登録されてしまい、そうしたデータベースを利用してメールの受信制限をしているサイトとの間のメールのやり取りができなくなるという事態にもなりかねない。

したがって、インターネットに直接接続しているメールサーバー(典型的にはファイアウォールやゲートウェイ)では、こうした「不正な第3者リレー」を意図したメールは中継しないようにすることが必須である。代表的なメールサーバーソフト sendmail も最新版では第3者リレーをデフォルトで禁止するようになったし、商用のメールサーバー製品もほとんどが同様の機能を持っているので、正しい設定を行うことが重要である。昨年来、日本国内でもスパムメールの手痛い被害にあうサイトが多数出たこともあり、この問題に対する理解と対策は相当に進んだように見受けられる。

特にプロバイダーの場合は、ほとんどの場合「不正メール中継」対策を行っているが、その副作用として、別のプロバイダーにダイヤルアップ接続してメールサーバーだけを利用する場合のメール送信が不便になるという問題が生じる。これに対応するために、POP での認証を受けた後一定時間は SMTP 接続を受け付けるという「POP beforeSMTP」のしくみを導入するプロバイダーも増えてきている。

### スパムメールのブロック

対策のはっきりしている「第3者リレー」に対して、自サイトに対して送られてくるスパムメールに対する対策は難しいところがある。

スパマーのメールアドレス、ドメイン名、IPアドレスなどでメールを受け取らないようなフィルタリングを行うことは可能であるし、最近ではそのようなフィルタリング機能を持つソフトウェアの製品化もされている。しかし、「ブラックリスト」のメンテナンスは一般に手間がかかるし、スパマーは前述の「第3者リレー」のテクニックを使ったりメールアドレスの頻繁な変更や詐称を行うことが多いので、その効果には限界がある。

反スパム団体などが収集し公開しているスパマーやスパム中継に利用されているサイトのブラックリストデータベースの利用や、発信元メールアドレスをチェックしてそのドメイン名がDNSで引けない場合は受取りを拒否するなどの方法もあるが、こうした強力な対策にはスパムメール以外の本来受取るべきメールまで拒否してしまうなどの副作用の可能性もある。実際、最近では、不用意なあるいは誤ったスパムメール対策の設定によってメールが届かなくなるというトラブルも増えてきているようであるので、注意が必要である。

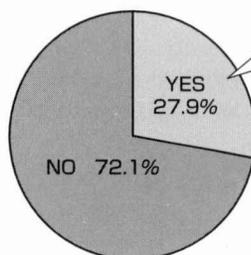
(白橋明弘 ネットワンシステムズ株式会社)

### 参考URL

スパムメールとE-mail爆撃  
<http://www.firewall.gr.jp/docs/IM19980701/IM9807.html>

スパムメール対策のポイント  
<http://www.netone.co.jp/doc/netcom99/NETCOM99D5.pdf>

### 資料4-1-16 不正アクセスなどの被害発生の有無



#### 具体例

1. スパムメール踏み台(リレー)
2. スパムメールの中継に悪用され、9か国から苦情・忠告がきた
3. 社員のパスワードが盗まれ、telenetで接続された
4. DNSなどのサーバーの不正停止 他

**出所** 地域プロバイダー協会のプロバイダーへのアンケート結果の資料を元に作成



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)